

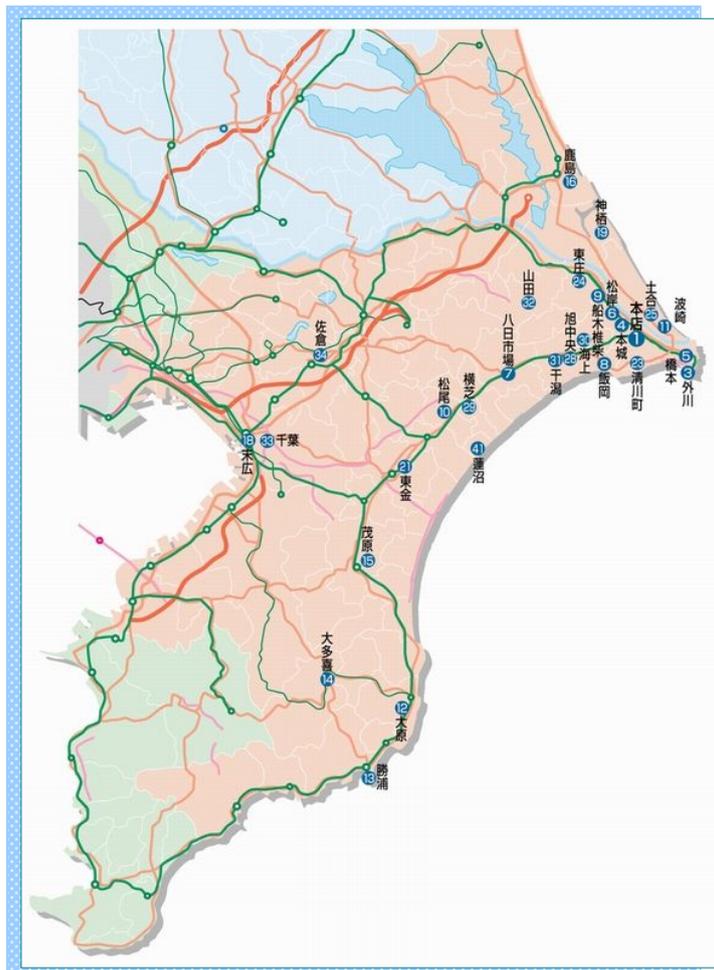
2012

9月号

ちょうしんきん

景況レポート

Economic Report of Sales Territory



1. 概況

全体の景況感（全29店舗）

	好転	不変	悪化
前月と比較して	1	28	0
今後3か月程度の見通し	0	27	2

【漁業】

銚子港の平成24年8月の総水揚げ数量は11,237トンで前年同月比+4,182トンの増加となった。総水揚げ金額は1,573百万円で前年同月比+81百万円の増加となった。サンマの水揚げと合わせて青魚が前年同月比水揚げ数量・金額ともに増加した。また、前月比については総水揚げ数量、水揚げ金額とも減少した。8月はお祭りによる休漁もあり、水揚げ日数が減少したことも影響している。

【農業】

銚子地区では、トウモロコシの出荷は8月17日で終了した。トウモロコシは、露地物を主に1箱2L（5kg）1,000円程度とほぼ前年並みに推移した。また、秋冬物のキャベツ・大根の植えつけ時期に入り、早いものは10月の出荷を目指している。

【商業】

個人消費については、震災の影響により昨年は中止となったイベント等が開催されているほか、観光客・帰省客が戻ったことから、小売や観光関連で好調な先が見受けられる。マイカー購入が順調だが、エコカー補助金の終了による反動が懸念される。一方、住宅関連では太陽光発電関連の話題が顕在化し、エコライフにつながる消費の増加が期待されている。

【建設業】

平成24年7月の公共機関からの受注工事（1件500万円以上の工事）は、千葉県で18,825百万円（前年同月比▲8,445百万円）、茨城県は10,555百万円（前年同月比▲1,602百万円）となった。また前月（6月）と対比して千葉県は▲525百万円、茨城県は▲9,561百万円減少した。

公共機関からの受注工事は、前月比では千葉県・茨城県ともに受注が減少し、千葉県では国の機関からの受注が前年同月を下回り、茨城県では地方の機関からの受注が前年同月を下回る結果となった。

【観光業】

観光業は、夏休みシーズンに入り個人客を中心に例年を上回る状況となった。しかし、集客は価格引下げによる効果が大きく、食事面でも地元の魚料理が好まれないことから、収益面では厳しいものとなった。

<業種別天気図>

全 体	漁 業	水産加工業	農 業	商 業
建 設 業	観 光 業	不 動 産 業	養 豚 業	自 動 車

（前月と比較した当月の各業種の景況感を天気図で表示してみました。）



2. 主要業種別動向

■ 漁業・水産加工業

銚子港の平成24年8月の総水揚数量は11,237トンで前年同月比+4,182トンの増加となった。総水揚金額は1,573百万円で前年同月比+81百万円の増加となった。サンマの水揚げと合わせて青魚が前年同月比水揚数量・金額ともに増加した。また、前月比については総水揚数量、水揚金額とも減少した。8月はお祭りによる休漁もあり、水揚げ日数が減少したことも影響している。

波崎港では、稼働日数は前月より1日増加して11日となった。8月の総水揚数量6,935トン、総水揚金額495百万円、対前月比水揚数量は▲2,928トン減少、同水揚金額も▲97百万円の減少となった。東電からの補償金により漁業者の資金繰りは安定している。

勝浦港では、総水揚数量は441トンで総水揚金額164百万円となった。前年同月比では、鰹・鮪の水揚げが落ち込んだことにより総水揚数量、総水揚金額ともに大きく減少した。前月対比でも、総水揚数量で▲4,385トン、総水揚金額も▲1,071百万円減少した。大原では伊勢エビ漁が解禁となったが、小ぶりで水揚げ量も少ない。

水産加工業では、解凍サンマ・塩干物の需要が停滞している。チリ産銀鮭の魚価が低迷し、青物（サンマ、鯖、イワシ）の需要・価格に影響がでており停滞基調が懸念される。

また水産物販売に関しては、銚子市で鮮魚の放射性物質の検査を外部委託しているが、9月に検査機器を導入、結果を市のホームページで公表し、安全性をアピールしていくこととしている。

銚子魚市場水揚高

銚子市漁業協同組合調べ

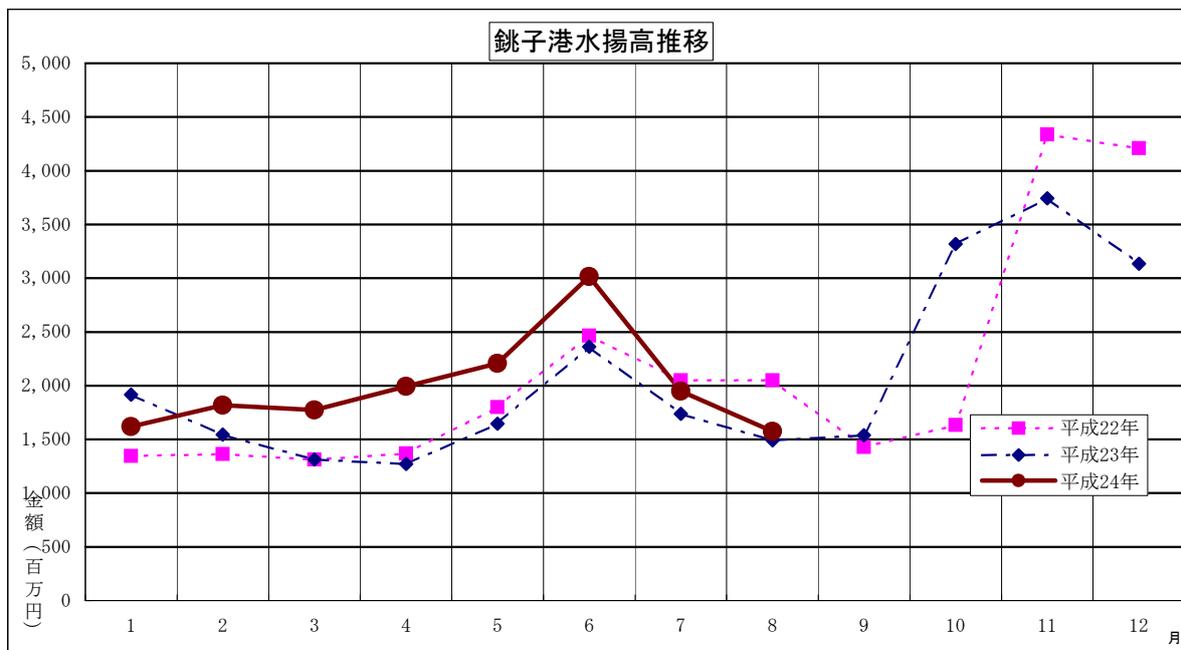
種類	区分	数量（トン）			金額（千円）		
		H24年8月	H23年8月	前年同月比	H24年8月	H23年8月	前年同月比
鰹		8,294	5,616	2,678	564,427	451,417	113,010
鯖		186	0	186	15,128	0	15,128
鰺		360	4	356	42,546	540	42,006
鰹・鮪		2,207	1,192	1,015	829,626	796,866	32,760
(内鰹一本釣)		0	0	0	0	0	0
秋刀魚		47	0	47	13,941	0	13,941
底曳		0	0	0	0	0	0
その他		144	243	▲ 99	107,683	242,657	▲ 134,974
合計		11,237	7,055	4,182	1,573,352	1,491,480	81,872

前月比	数量	59.17%
	金額	80.72%
前年同月比	数量	159.28%
	金額	105.49%

水揚日数

	H24年8月	H24年7月	H23年8月
鰹	10日	10日	12日
鯖	5日	3日	0日
鰺	4日	3日	1日
鰹・鮪	18日	17日	19日
(内鰹一本釣)	0日	7日	0日
秋刀魚	1日	0日	0日
底曳	0日	0日	0日
その他	22日	25日	24日





■ 農 業

銚子地区では、トウモロコシの出荷は8月17日で終了した。トウモロコシは、露地物を主に1箱2L（5kg）1,000円程度とほぼ前年並みに推移した。また、秋冬物のキャベツ・大根の植えつけ時期に入り、早いものは10月の出荷を目指している。

波崎地区のピーマンは、出荷量が少なく全体的にB級品が多く、価格は前月、前年比安値で取引された。秋物は価格・出荷量ともに例年並みに推移する模様。

旭地区のキュウリ・トマトの価格相場はキュウリが1本（等級 秀）5円～20円程度、トマトは1箱（4kg）300円～800円程度で取引された。前月と比較してキュウリは5円程度値上がりし、トマトは変わらず取引された。

海上地区のマッシュルームは、1パック（100g）100円前後と前年同月と同水準で取引されている。マッシュルームは室内生産で気候の影響がなく安定した価格で推移している。

飯岡地区では、8月中旬で貴味メロンの集荷を終えた。天候にも恵まれ例年より大玉のできとなり、1箱2,300円前後で推移し、後半の値崩れも少なかった。パセリ・春菊の出荷が続いているが、日差しが強く成育に影響が出ている。

■ 商 業

個人消費については、震災の影響により昨年は中止となったイベント等が開催されているほか、観光客・帰省客が戻ったことから、小売や観光関連で好調な先が見受けられる。

マイカー購入が順調だが、エコカー補助金の終了による反動が懸念される。一方、住宅関連では太陽光発電関連の話題が顕在化し、エコライフにつながる消費の増加が期待されている。

小売業では、晴天が続き、気温が上昇したことにより夏物商品に動きが見られた。すでに秋物商品の動きもあるが、消費者の節約志向は強く、依然として厳しい状況が続いている。

銚子地区では、「銚子市プレミアム付商品券」の発行が予定されており、中小の事業者等に経済効果をもたらすことが期待される。

銚子商工会議所では、銚子の地域資源を活用した商品の販売を推奨する銚子推奨品認定事業を実施することとなった。

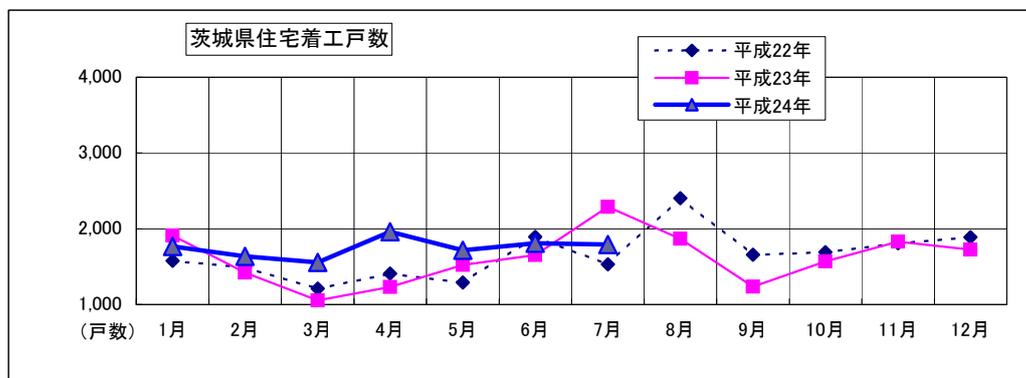
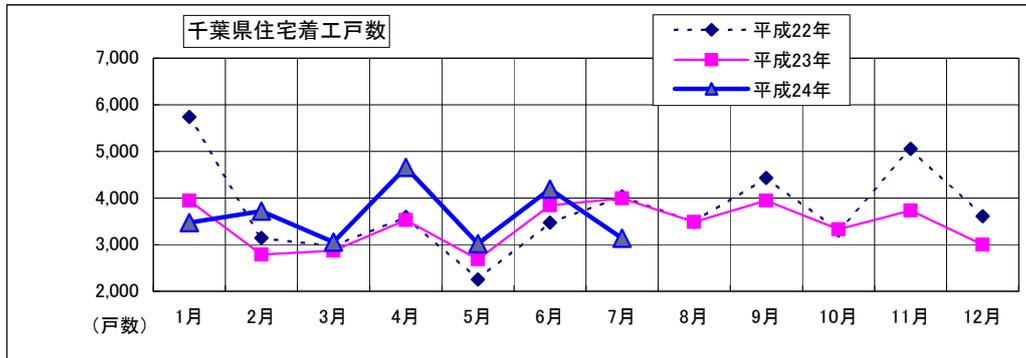
旧松尾町役場の敷地内に「道の駅ふれあいストアー松尾」がオープンした。

情報アドバイス
銚子商工会議所

■ 建設業

千葉県・茨城県の住宅着工戸数は以下のとおり。

	前月戸数	前々月戸数	増減
千葉県	3,138	4,192	▲ 1,054
茨城県	1,793	1,810	▲ 17



平成24年7月の公共機関からの受注工事(1件500万円以上の工事)は、千葉県で18,825百万円(前年同月比▲8,445百万円)、茨城県は10,555百万円(前年同月比▲1,602百万円)となった。また前月(6月)と対比して千葉県は▲525百万円、茨城県は▲9,561百万円減少した。

公共機関からの受注工事は、前月比では千葉県・茨城県ともに受注が減少し、千葉県では国の機関からの受注が前年同月を下回り、茨城県では地方の機関からの受注が前年同月を下回る結果となった。

平成24年7月の住宅着工戸数は、千葉県では3,138戸と前年同月比▲21.39%(854戸)の減少となった。茨城県についても、1,793戸で▲21.74%(498戸)減少した。なお、前月(6月)対比についても、千葉県で1,054戸、茨城県では17戸の減少となった。

国土交通省統計情報より

■ 観光業

観光業は、夏休みシーズンに入り個人客を中心に例年を上回る状況となった。しかし、集客は価格引下げによる効果が大きく、食事面でも地元の魚料理が好まれなことから、収益面では厳しいものとなった。その影響から、地元鮮魚卸もホテル関係への売上が減少している。

波崎地区では、スポーツ民宿が学生の夏合宿などにより盛況に推移した。蓮沼の「ウォーターガーデン」は、暑い日が続く例年になく盛況だった。大多喜地区では、お盆時期に活況となり顧客が戻ってきているとの声がある。鹿嶋地区では、神宮参拝客が例年並みに戻り、みやげ物店も売上を戻している。

一方、8月のシーズン終了を機に営業を終えるホテルも出ており、銚子では駅前のビジネスホテルが業績不振で廃業を決めた。

情報アドバイス
銚子商工会議所

■ 不動産業

千葉市中央区では、マンション計画を始め複数の分譲計画が進行している。

茨城県神栖市では、土合地区で複数の分譲計画が進んでおり、計画が遅れている案件もあるが予約状況は順調な模様。また、同地区では大手企業の遊休地(15,000坪)の分譲が計画されており、同エリアでの住宅供給がさらに進む見込み。

■ 養豚業・畜産業

平成24年8月の東京市場での鶏卵と豚枝肉の卸売価格相場は、鶏卵（Mサイズ）の卸売価格は平均157円/kgで前月比+2円/kg値上がりした。前年同月比については▲10円/kg値を下げた。豚枝肉の卸売価格相場は、480円/kgで前月比▲16円/kg値下がりした。前年同月比については▲15円/kg値を下げた。

■ 自動車ディーラー

平成24年8月の千葉県新車登録台数は10,648台で、前年同月対比108.72%（+854台）の増加となり、12ヶ月連続で前年同月台数を上回った。また、前月対比では72.19%（▲4,101台）となった。

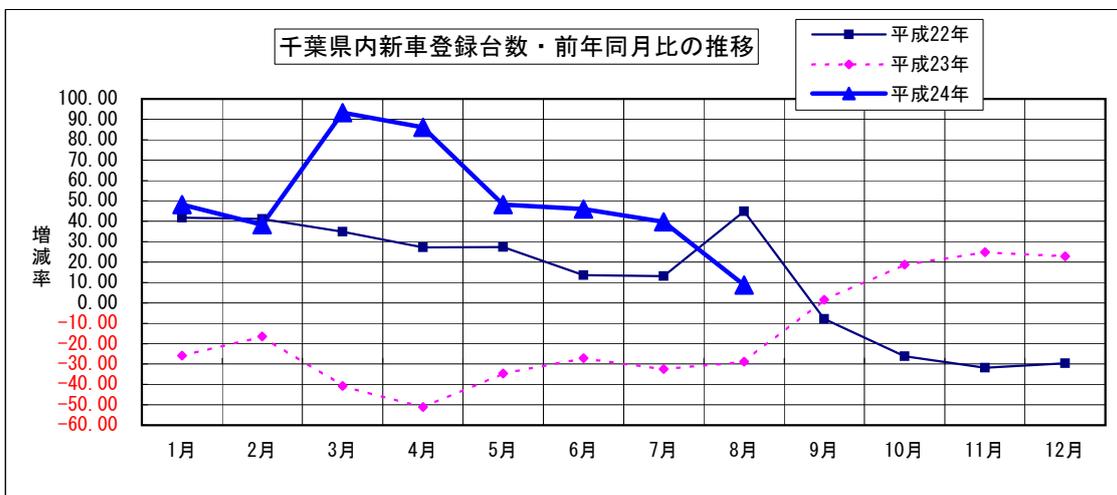
車種市場別の登録台数状況を見ると、乗用車市場全体では9,283台の登録台数で前年同月対比110.50%（+882台）となった。また、貨物車市場は1,103台の登録台数で前年同月対比99.10%（▲10台）となった。

占拠率はトヨタが48.5%と高水準を確保しており、次いで2位は、11ヶ月振りで日産（14.6%）となり、ホンダ（12.6%）は3位となった。

千葉県内新車登録台数状況（軽自動車を除く）

		当月	前月	前月比	前年同月	前年比
乗用	普通	4,683	6,018	77.82%	4,175	112.17%
	小型	4,600	7,231	63.61%	4,226	108.85%
	小計	9,283	13,249	70.07%	8,401	110.50%
貨物	普通	372	368	101.09%	475	78.32%
	小型	731	832	87.86%	638	114.58%
	小計	1,103	1,200	91.92%	1,113	99.10%
特殊等	特殊	222	266	83.46%	228	97.37%
	バス	40	34	117.65%	52	76.92%
	小計	262	300	87.33%	280	93.57%
総合計		10,648	14,749	72.19%	9,794	108.72%

社)日本自動車販売協会連合会 千葉県支部調べ



情報アドバイス
千葉トヨタ自動車㈱

3. その他の動向

求人

有効求人倍率

(単位：倍、増減はポイント)

	前月	前々月	増減	前年同月	増減
銚子公共職業安定所管内	0.73	0.69	0.04	0.50	0.23
茂原公共職業安定所管内	0.46	0.50	▲ 0.04	0.49	▲ 0.03
いすみ公共職業安定所管内	0.60	0.56	0.04	0.49	0.11
成田公共職業安定所管内	0.77	0.72	0.05	0.48	0.29
佐原公共職業安定所管内	0.57	0.52	0.05	0.36	0.21
千葉県	0.64	0.60	0.04	0.44	0.20
常陸鹿嶋公共職業安定所管内	0.83	0.88	▲ 0.05	0.60	0.23
茨城県	0.84	0.83	0.01	0.65	0.19

有効求人倍率＝有効求人数÷有効求職者数

ハローワーク銚子/茂原/いすみ/成田/佐原/常陸鹿嶋調べ

電力

電力使用量

(単位：千kwh)

	前月	前年同月	増減
東京電力成田支社管内総電力使用量	402,375	417,278	▲ 14,903

東京電力㈱成田支社調べ

倒産

平成24年(2012年)8月の負債総額1000万円以上を有する千葉県内企業倒産件数は33件で、前月比で10件の増加となった。また、前年同月比では5件の増加となった。

負債総額は17億8200万円で、前月比1億4800万円の増加となり前年同月比では31億4700万円の減少となった。8月は負債総額10億円以上の大型倒産は発生せず、中小・零細企業の小口倒産が散発した。

千葉県内の震災関連倒産は、8月は1件発生し、累計で29件となった。震災後、復興需要を求めて、東北地方に流出する企業・従業員も多い。そのため、県内では、職人不足に苦慮する業者も多く、労務費の上昇を招いているケースも見受ける。しかし、機材や人員の稼働率を高めるため関東への回帰も想定され、廉価競争に陥ることが想定される。

県内では、上場企業が事業停止の方針を明らかにするなど、地域経済・雇用への影響拡大が懸念される。

また、円高・エネルギー価格の高騰が要因となり、幅広い業種で企業収益を悪化させており、企業倒産を抑制してきた政府施策も来年3月に終了する。県内中小企業にとって売上が向上できる明るい材料が見えない。企業体力を消耗させている企業も多く、今後の倒産は増勢傾向をたどる可能性が高い。

倒産会社の従業員数は154名で前月比74名の増加となった。

産業別では「建設業」が12件を占めた。負債総額でも「建設業」が10億円と多く、次いで「製造業」が2億円となった。

原因別では、「業績不振」によるものが22件(構成比66.7%)と多く、次いで「他社倒産の余波」が5件(構成比15.2%)となった。

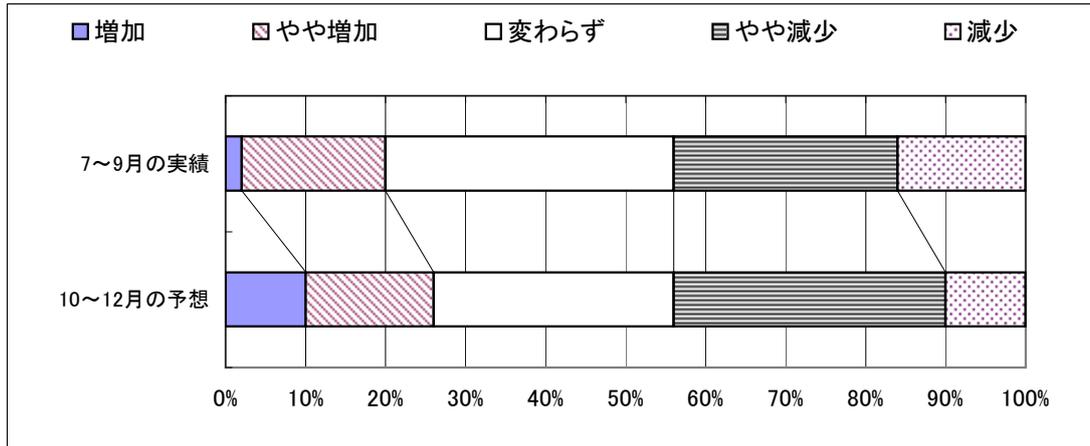
地域別では、県西部での発生が多く、倒産形態では破産が27件、銀行取引停止処分が6件と続いた。

(東京商工リサーチ・千葉県内企業倒産状況より)

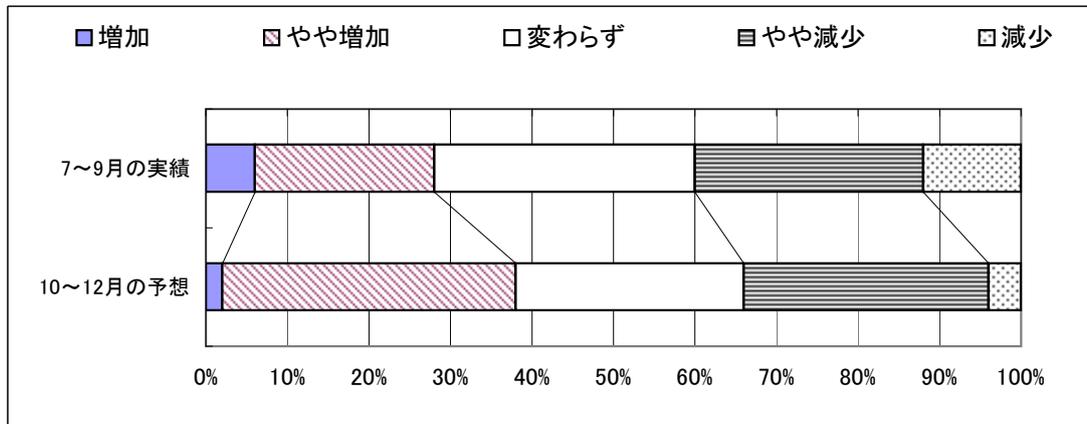
特集 第149回全国中小企業景気動向調査 当金庫分集計速報

本調査は全国各地の信用金庫において、年4回、四半期ごとに対象先企業の景気動向を聴き取り調査し、信金中央金庫が分析・集計しているものです。
 当金庫の対象先は営業店24店舗の顧客50先で、内訳は製造業17先、卸売業8先、小売業9先、サービス業4先、建設業8先、不動産業4先となっています。全国の集計結果は後日公表されますが、今回は8月下旬に行った当金庫の調査対象先の集計を、速報として掲載します。

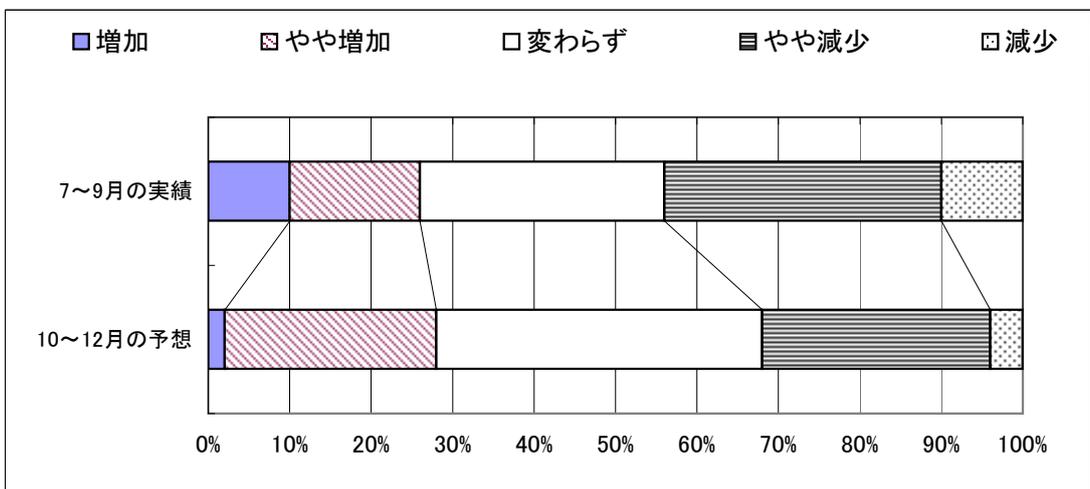
■ 業況



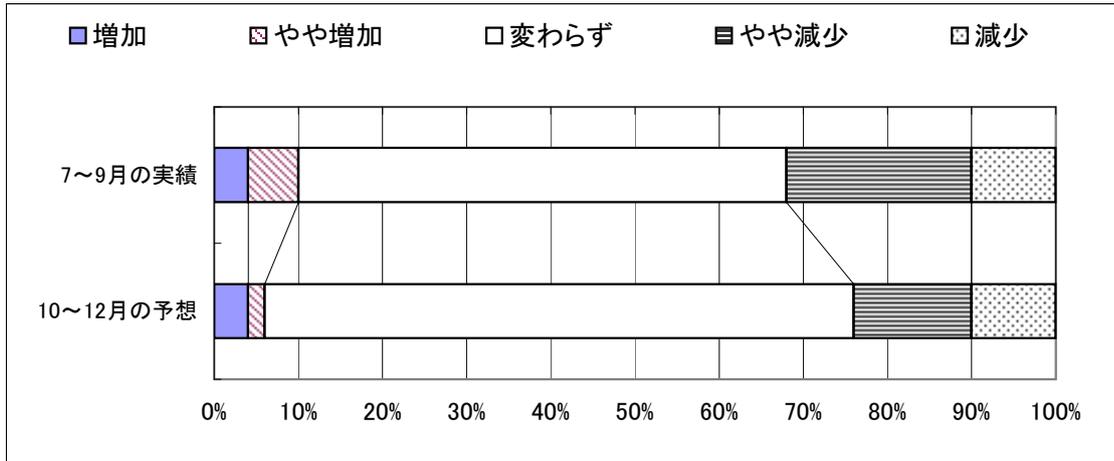
■ 売上



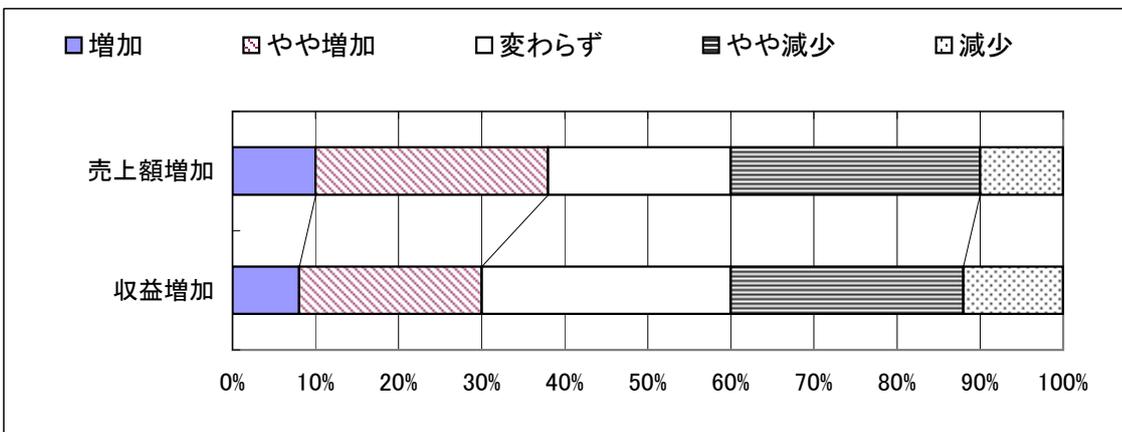
■ 収益



■ 資金繰り



■ 昨年同期比の売上・収益



「経営上の問題と当面の重点経営施策」について

経営上の問題点（業種別上位項目）

製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
<ul style="list-style-type: none"> ■ 売上の停滞・減少 ■ 利幅の縮小 ■ 販売納入先からの値下げ要請 ■ 原材料高 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 売上の停滞・減少 ■ 利幅の縮小 ■ 地場産業の衰退 ■ 同業者間の競争激化 ■ 流通経路の変化による競争の激化 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 売上の停滞・減少 ■ 利幅の縮小 ■ 商店街の集客力の低下 ■ 大型店との競争の激化 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 売上の停滞・減少 ■ 人件費の増加 ■ 利幅の縮小 ■ 料金の値下げ要請 ■ 商圏人口の減少 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 同業者間の競争の激化 ■ 利幅の縮小 ■ 大手企業との競争の激化 ■ 人件費の増加 ■ 地場産業の衰退 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 利幅の縮小 ■ 商品物件の不足 ■ 売上の停滞・減少 ■ 同業者間の競争の激化 ■ 経費の増加

当面の重点経営施策（業種別上位項目）

製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
<ul style="list-style-type: none"> ■ 販路拡大 ■ 経費節減 ■ 新製品・技術を開発する ■ 教育訓練の強化 ■ 人材の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 販路拡大 ■ 経費節減 ■ 新規事業の開始 ■ 情報力の強化 ■ 流通経路の見直し 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 経費節減 ■ 売筋商品を取扱う ■ 品揃えの改善 ■ 仕入先を開拓・選別する ■ 商店街の活性化 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 経費節減 ■ 販路拡大 ■ 宣伝・広告の強化 ■ 新規事業の開始 ■ 人材の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 経費節減 ■ 情報力強化 ■ 販路拡大 ■ 人材確保 ■ 技術力を高める 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 宣伝・広告の強化 ■ 情報力の強化 ■ 販路拡大 ■ 経費節減 ■ 機械化推進

本誌作成にあたってのデータ参照先

銚子市漁業協同組合
銚子商工会議所
株式会社 東京商工リサーチ
国土交通省 統計情報
社) 日本自動車販売協会連合会 千葉県支部
千葉トヨタ自動車 株式会社
ハローワーク銚子
ハローワーク茂原
ハローワークいすみ
ハローワーク成田
ハローワーク佐原
ハローワーク常陸鹿嶋
東京電力 株式会社 成田支社
(順不同)
※ その他掲載データは当金庫独自の調査によるものです。

発 行 ; 銚子信用金庫
編 集 ; 営業推進部
住 所 ; 〒288-8686 銚子市双葉町5-5
電 話 ; 0479-25-2121
F A X ; 0479-24-4591
E-mail ; eisui@choshi-shinkin.co.jp
U R L ; http://www.choshi-shinkin.co.jp

ちょうしんさん ビジネス知恵袋のご案内

「取引先事業所の成長・発展」を目的に、経営コンサルティング企業の㈱タナベ経営とタイアップし、みなさまのビジネスを支える多彩な情報をインターネットを通じてご提供するサービスです。

【年会費】17,850円(うち消費税850円)

【ご入会】当金庫取引の有無は問いません。入会申込書は、お近くのちょうしんきん窓口またはご担当の営業担当者におたずねください。

経営情報レポート

業種別・機能別・経営テーマ別に分類。
改善事例や経営ノウハウなど総数2,000種類の経営情報をご提供。

法律アドバイスネット

法律に関するQ&A4,000種類。申請書・申告書記載例300件、根拠条文も閲覧可能。

ネット経営相談

企業経営に関するアドバイスネット。FAQを50件掲載。
あらゆる経営のお悩みをご相談ください。専門コンサルタント、法律・税務の専門家がメールでアドバイスいたします。

レポート・ネット

毎月配信するリーダーズ・レポートと地域版コンサル・レポートをご覧ください。

その他のコンテンツを含めて、全16の充実したコンテンツが満載！
みなさまのお申込みをお待ちしています。